

豊かな自然を大満喫!!

大宮地川 川遊び



新和まちづくり協議会だより

フバコ

No. 71

令和元年11月1日発行

主な内容

- はまぼう観察週間・新和町敬老会…2p
- まちの話題…3p
- 振興会だより…4~5p
- 第23回しんわ楊貴妃祭り…6p
- お知らせ…7~8p

編集発行：新和まちづくり協議会事務局

9月15日、大宮地子ども会では、大宮地川での川遊びを楽しみました。

川で遊ぶ機会が少ない子ども達に、地元の川に親しんでもらうことと、春に大宮地地区振興会が放流した鮎の生育状況を確認することを目的に毎年行っています。この日は9月半ばとは思えないほど水温は高く、川に入るなり子ども達ははしゃぎ、鮎の捕獲では、大人と一緒に刺し網を使って鮎を追いかけ、20~25cmほどの立派に成長した鮎を30匹ほど捕獲。生育状況の確認が目的でしたが、参加者全員で川の恵みに感謝していただきました。子ども達には、ふるさとの川でいい思い出が作れたことでしょう。



演奏する吉岡さん(右から2人目)

「コレジョの仲間」inフィリピン
7月23日、吉岡渚さん(小宮地)が参加する古楽器演奏グループ「コレジョの仲間」がフィリピンの世界文化遺産「聖アグスティン教会」礼拝堂で演奏を披露しました。これは昨年、崎津集落を訪れたフィリピン「北ルソン日本人会」の小国秀宣代表が、天草コレジョ館(河浦町)に復元展示されているピアノの原型である「ヴァージナル」などの古楽器を使った同グループの演奏に感銘を受け、日比友好月間イベントに招待したものです。

演奏会では、天正遣欧少年使節が豊臣秀吉に演奏したという「千々の悲しみ」など8曲を披露。華やかな音色が鳴り響き、教会内は大歓声に包まれました。クルムホルン奏者として参加した吉岡さんは、「最後まで熱心に聞いていただき、光栄でした。話す言葉は違っても音楽は伝わるものです」と話していました。12月21日(土)に崎津教会でチャペルコンサートが開催されます。皆さんも古楽器が奏でる素敵な調べを楽しんでみてはどうでしょうか。

熊日金婚夫婦表彰伝達式
9月27日、天草市新和支所において、「第61回熊日金婚夫婦表彰伝達式」が行われ、結婚50周年の金婚を迎えられた11組のご夫婦が表彰されました。式では、出席された10組に天草市からの記念品贈呈、熊本日新聞社からの表彰状・記念品の伝達があり、中村市長からお祝いのことが述べられました。その後、記念撮影が行われ、皆さんお祝いの花束を手に、これまで共に過ごした歳月を振り返り、思い出を語り合っておられました。

これからの夫婦仲むつまじく、お過ごしください。
本年度の金婚夫婦表彰対象のご夫婦は次のとおりです。(敬称略・五十音順)
◆池田 壽恵智・ノリ子夫妻
◆池田 正・邦子夫妻
◆川端 幸徳・柳子夫妻
◆小辻 由人・静子夫妻
◆齊藤 健一・朗子夫妻
◆園田 正己・輝子夫妻
◆高田 栄二・鶴枝夫妻
◆野方 昌則・清香夫妻
◆濱 若光・榮子夫妻
◆福井 健司・起子夫妻
◆衰田 實可・美佐子夫妻



いつまでもお幸せに!



地獄絵図の説明を受けます

新和社會体育協会
8月17日、新和社會体育協会は明榮寺で「禅の集い」を開催しました。これは、新和社會体育協会が運営する新和アスリートクラブが、心の修養を目的に初めて開催したもので、所属する5つのクラブから児童15人と指導者6人の計21人が参加しました。座禅を初めて体験する児童がほとんどで、全員が住職から肩などを打たれる警策(きょうさく)をいただき、最終緊張感をもって、一人ひとりが瞑想することができました。また、特別に展示された地獄絵図の説明や禅寺の朝食を体験し、普段のスポーツ活動とは違い、精神面の向上を図りました。

Tbatter
つばさのつばやき
4月から新和支所でお世話になっていきます。新和支所勤務が決まり、最初に思ったことは、「新和の校歌がよく聞いたことがあるな」でした。十数年前、本渡の某カラオケ店そばに住んでいた時期がありました。その店を出た少し暗い道、酔い覚ましに、肩を組みながら、10人ほどの集団で歩く人たち。同窓会でしょうか。誰かが口ずさみ出すと、徐々に歌声が大きくなり、最後に全員で大合唱するのは、「〇〇小学校」や「△△中学校」のフレーズが定番でした。そして、歌い終わりに、大きな拍手とたくさんの笑顔を残して帰って行かれる姿も定番のひとつでした。
ちなみに、当時アパートのベランダでタバコを吸いながらカウントした私の独自集計によると、新和地区の校名が出る回数は全体の第2位でしたので、併せてご報告させていただきます。